



「行田エコタウン」の創出に向けて、市が行っている取り組みを紹介しします。



住宅用太陽光発電システム設置の推進

住宅用太陽光発電システム設置に対する補助事業は、新エネルギーの導入の促進を図ることを目的として、平成22年度から開始しています。平成26年度までに、全国トップクラスの普及率（10%・2千件／個人住宅総数約2万件）を目指します。

市内LED化計画

市内に約6千基ある自治会管理の防犯灯について、LED化を推進するための補助を実施し、平成26年度までにすべての防犯灯のLED化を目指します。消費電力が約65%削減されることから、地球温暖化対策としての効果は大きいものがあります。また、計画的に公園や駅前広場など公共施設の電灯をLED化していきます。

いのちを守る森づくり事業

平成20年度から、宮脇昭さん（横浜国立大学名誉教授）の指導のもと、NPO団体と協働で実行委員会を設立し、市民参加により市内の公園などに苗木を

地球温暖化対策は、社会全体で取り組まなければならない問題です。また、東日本大震災により住民の節電意識が高まり、省エネルギー設備や太陽光発電設備など、環境に配慮した設備が注目されています。こうした状況を踏まえ、市は省エネルギー対策や自然エネルギーの活用などの環境にやさしい事業を推進し、「行田エコタウン」を創出していきます。



「いのちを守る森づくり」第4回親子植樹祭

植える親子植樹祭や育樹祭を実施しています。

地産地消の推進

食料の重量と輸送距離を掛け合わせた「フードマイレージ」の観点から考えると、地産地消



第10回行田軽トラ朝市

の推進によって、二酸化炭素を減少することができます。市では、次の取り組みに力を入れています。

- ・行事やイベントを通じた「地産地消」運動のPR
- ・行田軽トラ朝市の実施
- ・小学生を対象にした「地産地消」運動および食育の推進
- ・行田在来青大豆の普及

「環境みらい都市」に認定されました

本市は、「住宅用太陽光発電システム設置の推進」や「市内LED化計画」などの行田エコタウンの創出に向けた取り組みが高く評価され、「環境みらい都市」に認定されました。「環境みらい都市」とは、先進的で他の模範となる地球温暖化対策に積極的に取り組む県内の市町村を埼玉県が認定する制度であり、10月13日に上田知事から工藤市長に認定証が交付されました。



平成23年度 環境みらい都市認定証交付式